

令和4年度「水力発電技術人材育成研修」(設計・維持管理コース)の開催について

令和4年2月9日
一般社団法人 電力土木技術協会

本研修は、水力発電所を構成する主要な工作物の設計に関する知識や、標準的な維持管理方法を習得することを目標として、座学研修を4日間行います。講師は水力開発に豊富な経験を有する者で、演習や経験事例を踏まえた実践的な講義を行いますので、水力発電技術に関する知識の習得に熱意や興味を有する方、水力開発に意欲を有する方は奮ってご参加下さい。

新型コロナウイルス感染症の予防措置として、所要の対策を講じて参りますので御協力をお願い致します。なお、開催地等における感染拡大の状況等によっては中止・変更する場合もございますので予めご了承願います。

記

<設計・維持管理コース実施要領>

日 時	令和4年4月12日(火)	9:30~17:00	(座学研修)
	”	13日(水)	9:00~17:30 (”)
	”	14日(木)	9:00~17:00 (”)
	”	15日(金)	9:00~17:00 (”)

場 所 〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66番地20
川崎市産業振興会館 9F 第3研修室
TEL 044-548-4111/FAX 044-548-4110
会場案内図 別紙1をご参照ください。

参加料	非会員	100,000円(税込み)
	会 員	90,000円(”)

対象者

- ・従前の人材育成研修会(基礎コース)の受講者、若しくは同等の経験を有する者
- ・水力発電所の設計について経験を有するか、若しくは、設計に必要な基礎的技術力(安定計算等)を備えている者
- ・水力発電所の維持管理について経験を有するか、実務を学びたい者

*なお、これから取り組もうという方でも以下のように配慮していますので、ご参加をお待ちしております。(事前に電話等によるご相談にも応じます)

①スキル(経験)を勘案して構成したグループ制を採用しているため、グループ内で一定の相談・指導が期待できます。(実績あり) ②講師が巡回するなどして懇切に指導致します。

募集人員 40名(定員を上回った場合は、受付を制限する場合があります。)

受付開始 令和4年2月9日(水)

応募期限 令和4年4月7日(木)

申込方法 一般社団法人 電力土木技術協会 ホームページ(URL:<http://jepoc.or.jp>)の「ニュース欄→行事・イベント案内」に設けた申込欄より必要事項を記入し申し込みの上、4月8日までに参加料を、次の口座にお振込み下さい。

参加料振込口座 金融機関名 : 三菱UFJ銀行
支店名 : 本店
口座種別 : 普通
口座番号 : 7638130
口座名義人 : 一般社団法人電力土木技術協会

研修の構成とカリキュラム

(研修)

「設計」では、水力発電所を構成する主要な工作物の設計に係る基礎的事項について、実践的な演習を中心とした研修を行います。

研修第1日目は、「水力発電構造物設計に係る復習」等について講義を行います。第2・3日目は、工事計画の認可または届出に関する内容を基本とし、各施設の設計において考慮すべき諸条件を明らかにした上で、設備ごとに演習形式で研修を行います。

「維持管理」では、電気事業法に規定されている「保安規程」および「主任技術者」に関する事項を中心とした「標準的な維持管理体制」をベースにした実務について、また対象設備に係る健全性・劣化等に配慮した設計のポイントを中心とした研修を行います。

(教材)

本コース用に作成したテキストのほか、講義に関連した資料等を配布します。

(受講証明)

ご希望の方にはCPD登録に必要な受講証明を致します。

留意事項

① 駐車場は主催者側では準備いたしません。

- ② 筆記用具、電卓(関数付き)及び定規を持参して下さい。
- ③ 食事、宿泊は各自でご手配ください。
- ④ 服装は、通常の執務時に着用する服装で差支えありません。

<新型コロナウイルス感染症拡大防止対策>

「新型コロナウイルス感染症の予防措置」として、以下の対策を講じますので、協力方
お願い致します。

- ① 体調に不安のある者の参加は認めない。
- ② 各自が移動時においては、感染することを避けるよう留意する。
- ③ 3つの密(密閉・密集・密接)対策（ソーシャルディスタンスの確保）を図る。
- ④ マスクの着用を徹底する。
- ⑤ 手洗い、手指消毒を徹底する。
- ⑥ 毎朝、入室時に検温し、37.5℃以上の方は入室を禁止する。
- ⑦ 会場における換気に努める。
- ⑧ 夜間の外出については、自粛することを要請する。

令和4年度「水力発電技術人材育成研修」(設計・維持管理コース)

令和4年4月12日～15日 電力土木技術協会

時間帯	講義テーマ	内 容	講師
4/12 (第1日目)			
9:30～9:40	オリエンテーション		電力土木技術協会
9:40～11:10	1. 水力発電(土木・鋼構造物)設計概論	・技術基準 ・土木設備(取水ダム,水路,発電所) ・鋼構造物(ゲート,水圧鉄管) 他	電力土木技術協会
11:20～14:30	2. 構造物設計に係る基礎事項	・構造力学 ・水理学 ・コンクリート工学	電力土木技術協会
(12:00～13:00)	(昼休み)		
14:40～17:00	3. 取水ダムに係る設計演習		電力土木技術協会
4/13 (第2日目)			
9:00～11:30	4. 水路Ⅰ(取水口・沈砂池・水槽・水圧管路)の設計演習	・損失落差 ・通水量(内空断面) ・余水吐き,減勢工 他	電力土木技術協会
11:30～12:30	(昼休み)		
12:30～15:30	5. 水路Ⅱ(導水路・放水路)の設計演習	・水路勾配 ・通水量 ・内空断面 他	電力土木技術協会
15:40～17:30	6. 水圧鉄管の設計演習	・設計水圧 ・水撃圧 ・管厚 ・固定台 ・設計のポイント・事例検討	外部講師
4/14 (第3日目)			
9:00～11:00	6. 水圧鉄管の設計演習(続き)		(同 上)
11:10～12:00	7. 水車の選定	・型式 ・台数 ・比速度 ・効率他	電力土木技術協会
12:00～13:00	(昼休み)		
13:00～17:00	8. ゲート・スクリーンの設計演習	・設計のポイント ・事例検討	外部講師
4/15 (第4日目)			
9:00～11:00	9. 維持管理に係る設計上のポイント	・コンクリート構造物 他	外部講師
11:10～14:10	10. 維持管理業務の実際	・巡視,点検,手入れ ・健全性評価 ・保守作業 ・出水時対応 ・地震時対応 他	外部講師
(12:00～13:00)	(昼休み)		
14:20～17:00	11. 維持管理に係る技術等の紹介	・漏水管理 ・クラック管理 ・除塵 ・鉄管板厚管理 ・浸透探傷試験 ・高度化技術 他	外部講師 電力土木技術協会

(注) 講師、時間割等は都合により変更となる場合があります。

会場案内図



電車でお越しのお客様

東京駅からのアクセス

JR 東海道本線にて JR 川崎駅 (約 17 分)

品川駅からのアクセス

JR 東海道本線にて JR 川崎駅 (約 9 分)

飛行機でお越しのお客様

羽田空港からのアクセス

羽田空港国際線ターミナル駅より京浜急行線にて京急川崎駅 (約 15 分)

成田空港からのアクセス

成田空港駅より成田エクスプレスにて JR 品川駅へ (約 70 分)

JR 品川駅から JR 東海道本線に乗り換えて JR 川崎駅 (約 9 分)

(お問い合わせ先)

〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目8-2 小貝ビル4F

一般社団法人電力土木技術協会

電話 03-3432-8905

FAX 03-3435-1778

URL <http://jepoc.or.jp>

担当：人材育成研修 担当

FAXの送付先 03-3435-1778

一般社団法人 電力土木技術協会 宛

「水力発電技術人材育成研修」(設計・維持管理コース)申込書

令和4年 月 日

1	電力土木技術協会会員・非会員	会員・非会員
2	氏名(漢字)	
3	氏名(カタカナ)	
4	会社名	
5	所属	
6	郵便番号	
7	住所	
8	電話番号	
9	E-Mail	
10	生年月日	昭和・平成 年 月 日
11	性別	男性 ・ 女性
12	職 種 (該当箇所に○をお付けください)	(土木, 農業土木, 電気, 機械, 建築, 環境, 経済, その他(.....))
13	水力発電の経験年数 (該当箇所に○をお付けください)	(なし, 1年未満, 1年～5年未満, 5年～10年未満, 10年以上 (.....年))
14	水力設計に関する経験年数(該当箇所に ○をお付けください)	(なし, 1年未満, 1年～5年未満, 5年～10年未満, 10年以上 (.....年))
	備 考	

－ 以 上 －